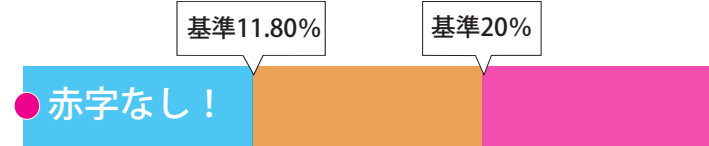


平成28年度決算に基づき算定した 財政健全化判断比率

← 財政健全 財政悪化 →

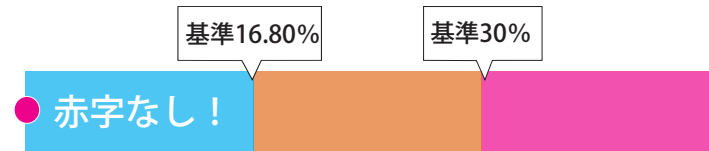
実質赤字比率

一般会計等の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるか示すものです。



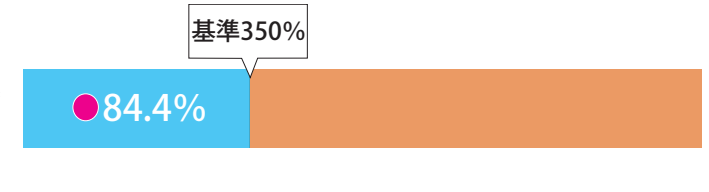
連結実質赤字比率

全会計の実質的な赤字額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるか示すものです。



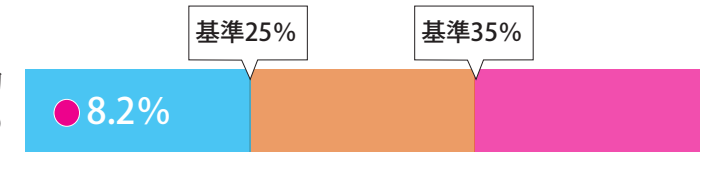
将来負担比率

一般会計等が抱える実質的な負債の残額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるか示すものです。



実質公債費比率

一般会計等の実質的な借入金の返済額が、標準的な収入に対してどれくらいの割合になるか示すものです。



資金不足比率

各公営企業会計の資金不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合になるか示すものです。

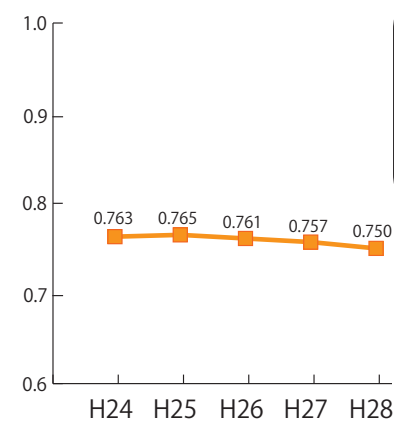


● 古河市における指標 ■ 健全 ■ 早期健全化団体 ■ 財政再生団体

【平成28年度決算に基づく現状値】

古河市の財政状況を表す指標は、すべて国の基準で「健全」とされる範囲内です。今後も、将来にわたって継続可能な財政運営を図っていきます。

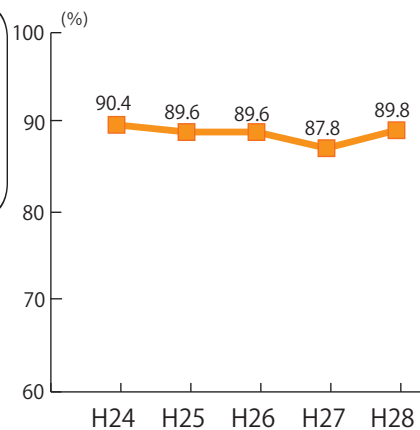
□ 財政力指数



財政力の強弱を示す指標で、数値が大きいほど自主財源の割合が高く、財政力が強い自治体といえます。



□ 経常収支比率



経常的な収入(交付税等)に対する経常的な支出(人件費等)の割合。数値が小さいほど財政に弾力のある自治体といえます。



特別会計・水道事業会計 事業評価

□ 特別会計の概要

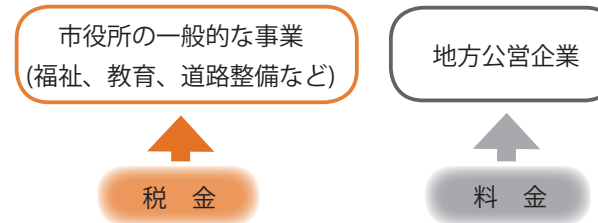
特別会計(12会計)の決算額を合計すると、歳入が356億1,054万円で、前年度と比べて1億4,639万円(0.4%)の増加となり、歳出が349億6,995万円で前年度と比べて2,250万円(0.1%)の減少となりました。

会計名	歳入(A)	歳出(B)	差引額(A-B)
国民健康保険(事業勘定)	187億3,867万円	186億3,867万円	1億円
国民健康保険(直診勘定)	6,664万円	6,157万円	507万円
古河福祉の森診療所	1億7,421万円	1億5,677万円	1,744万円
後期高齢者医療	11億8,995万円	11億7,710万円	1,285万円
介護保険(保険事業勘定)	95億5,302万円	93億5,327万円	1億9,975万円
介護保険(介護サービス事業勘定)	3,980万円	3,624万円	356万円
公共下水道事業	39億8,571万円	37億8,808万円	1億9,763万円
農業集落排水事業	5億9,237万円	5億6,809万円	2,428万円
ゴルフ場事業	9,734万円	7,241万円	2,493万円
古河駅東部土地区画整理事業	5億8,466万円	5億4,236万円	4,230万円
片田南西部土地区画整理事業	3億9,417万円	3億8,139万円	1,278万円
公共用地先行取得	1億9,400万円	1億9,400万円	0万円
合計	356億1,054万円	349億6,995万円	6億4,059万円

□ 水道事業会計の概要

水道事業は法律において「地方公営企業」と位置付けされており、事業に必要な経費は、原則として水道料金などの収入でまかなう「独立採算の原則」に基づき運営されています。

【問】水道課(三和庁舎) ☎76-1511



水道水をつくるための予算 (消費税抜)	
収益的収入	24億7,679万円
収益的支出	20億3,373万円
(収支差額)	4億4,306万円
水道施設を整備するための予算 (消費税込)	
資本的収入	3億9,407万円
資本的支出	15億2,841万円
(収支差額)	△11億3,434万円

事業評価を実施しました

市では、平成28年度に行った事業を対象とした事業評価を実施しました。評価にあたっては、各担当部署において事業の目的や効果の達成状況をもとに数値指標を設定して評価を行いました。

評価結果は、市公式ホームページおよび右記の市内各施設でご覧になれます。

【問】企画課(総和庁舎) ☎92-3111

『事業評価書』を閲覧できる施設

- 【古河地区】古河庁舎市民総合窓口室、古河東公民館、中田公民館、はなももプラザ(地域交流センター)、いちようプラザ(駅西地域交流センター)
- 【総和地区】総和庁舎企画課、ユースセンター総和、とねミドリ館(生涯学習センター総和)
- 【三和地区】三和庁舎市民総合窓口室、燦SUN館(三和図書館資料館)